

■冷感グッズを使いこなそう■

昨年の震災後の夏以来、節電を受けて様々な工夫で涼しさを作り出す冷感グッズが大量に出回るようになった。これらは上手に使いこなせば暑さを乗り切る強い味方になってくれるので、ドラッグストア、ディスカウントショップ、セレクトショップ、DIYショップ、スポーツ用品店などを回って、様々なクール系アイテムを見つけよう。ただしこれらにはその性能を発揮する条件があり、誤って使用すると効果も半減してしまう。正しい知識を持って適材適所、上手に使いこなしたい。

■蒸散系冷感アイテム



汗も含む水分を蒸散させて気化熱で熱を奪ったり不快感を防ぐ仕組みのアイテム。速乾素材のウェア類もこのカテゴリに含まれる。特に気温が高く湿度の低い屋外で威力を発揮する。

弱点は皮脂などの脂分や粉体で、繊維に付着すると吸水・蒸散作用を妨げてしまう。速乾性繊維のシャツを着る前に制汗パウダー入りスプレーを使用するのは悪い例だ。また、皮脂を多量に含んだいわゆる『ドロドロ汗』もこのタイプのアイテムの性能を大きく引き下げるので、できるだけコミケット当日以前から身体は清潔にし、水分や野菜類を積極的に摂る、サウナに行く、ぬるめのお風呂にゆっくりつかるといった汗腺の機能を正常化させるための工夫をしておこう。汗の質が変わると、暑さの感じ方も違ってくる。

■揮発系冷感アイテム

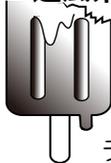


メンソール等の揮発成分を含んだスプレーやジェル、繊維に涼感加工を施したアンダーウェアやソックスなど。湿度が高くて水分が蒸散しにくい環境でも一定の効果期待できる。

昨夏に大ブレイクした『シャツにスプレーして涼感を得る』タイプのアイテムはかなり効果的。同様の涼感ボディーペーパー類と併用し、腕や首まわり等の肌が露出した部分はペーパーで時々拭き、シャツやズボンにはスプレーを使用することで汗まみれの状態を大分改善できる。

欠点は一定時間経つと効果が無くなることで、その都度シャツやズボン等を脱いで身体を拭いたりスプレーし直すのが困難である点（着衣の上からスプレーするタイプもあるが）。と、あまり使い過ぎると肌にダメージを与えかねない点。特に肌との相性は大切なので、事前に何度か試用して問題がないか確認しておくこと！ また、スプレー式の物は必ず屋外で、周囲への飛散にも十分注意して使用しなくてはならない。

■送風系アイテム



ミニ扇風機、うちわ、扇子など、直接風を身体に当てることで蒸散・揮発系の効果をさらに高めるアイテムで、仕組みは単純だが効果はバカにできない。100円ショップでも買える扇子1本でもバッグに忍ばせておけば重宝まちがいなし。ミニ扇風機も入場待機列やサークル参加者などにはかなり効果的なアイテムだが、使用済み電池は自宅へ持ち帰って分別処分を。

使って快適なこれらのアイテム類だが、落とし物をしない、ゴミをポイ捨てしないよう注意しよう。

座って待機していた場所から立ち上がったらず周囲を確認。また、バッグの中には必ずゴミ袋を用意しておこう。自分が快適でもゴミを散らかして他の参加者を不快にしたのでは恥だ。



●雨への備えもお忘れなく！

ここしばらくは幸い会期中の雨はないが、だからと言って対策を怠ってはいけない。ゲリラ豪雨に象徴されるように、もし降ったら激しい雨で一気にずぶ濡れになることが予想されるので、例え予報では一日晴れになっていても、最低限の備えはしておくこと！

コミケットの密集した行列の中では傘は周囲の参加者に多大な迷惑と危険を及ぼすので使えない。雨対策はポンチョなどのレインウェアに頼ることになるので、ある程度しっかりしたものを用意しておこう（人が密集している場所以外で傘を使うのは問題ない）。

また、着ていく衣服も、『この服はもし雨が降ってずぶ濡れになったらどうなるか』ということは考えておこう。簡単に乾かない、身体に張りついたり透けてしまったりする、色落ちするなどの問題がありそうな服は避けるというだけでも立派な雨対策なのだ。

大切な戦利品や水に弱い電子機器を守るためにも、カバンを覆えるような大きめのビニール袋やジッパー付きの防水パックは必ず数枚用意しておこう。

■冷感グッズを使いこなそう■

昨年の震災後の夏以来、節電を受けて様々な工夫で涼しさを作り出す冷感グッズが大量に出回るようになった。これらは上手に使いこなせば暑さを乗り切る強い味方になってくれるので、ドラッグストア、ディスカウントショップ、セレクトショップ、DIYショップ、スポーツ用品店などを回って、様々なクール系アイテムを見つけよう。ただしこれらにはその性能を発揮する条件があり、誤って使用すると効果も半減してしまう。正しい知識を持って適材適所、上手に使いこなしたい。

■蒸散系冷感アイテム



汗も含む水分を蒸散させて気化熱で熱を奪ったり不快感を防ぐ仕組みのアイテム。速乾素材のウェア類もこのカテゴリに含まれる。特に気温が高く湿度の低い屋外で威力を発揮する。

弱点は皮脂などの脂分や粉体で、繊維に付着すると吸水・蒸散作用を妨げてしまう。速乾性繊維のシャツを着る前に制汗パウダー入りスプレーを使用するのは悪い例だ。また、皮脂を多量に含んだいわゆる『ドロドロ汗』もこのタイプのアイテムの性能を大きく引き下げるので、できるだけコミケット当日以前から身体は清潔にし、水分や野菜類を積極的に摂る、サウナに行く、ぬるめのお風呂にゆっくりつかるといった汗腺の機能を正常化させるための工夫をしておこう。汗の質が変わると、暑さの感じ方も違ってくる。

■揮発系冷感アイテム

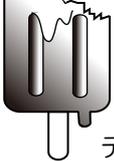


メンソール等の揮発成分を含んだスプレーやジェル、繊維に涼感加工を施したアンダーウェアやソックスなど。湿度が高く水分が蒸散しにくい環境でも一定の効果も期待できる。

昨夏に大ブレイクした『シャツにスプレーして涼感を得る』タイプのアイテムはかなり効果的。同様の涼感ボディーペーパー類と併用し、腕や首まわり等の肌が露出した部分はペーパーで時々拭き、シャツやスポンにはスプレーを使用することで汗まみれの状態を大分改善できる。

欠点は一定時間経つと効果が無くなることで、その都度シャツやスポンを脱いで身体を拭いたりスプレーし直すのが困難である点（着衣の上からスプレーするタイプもあるが）。と、あまり使い過ぎると肌にダメージを与えかねない点。特に肌との相性は大切なので、事前に何度か試用して問題がないか確認しておくこと！ また、スプレー式は必ず屋外で、周囲への飛散にも十分注意して使用しなくてはならない。

■送風系アイテム



ミニ扇風機、うちわ、扇子など、直接風を身体に当てることで蒸散・揮発系の効果をさらに高めるアイテムで、仕組みは単純だが効果はバカにできない。100円ショップでも買える扇子1本でもバッグに忍ばせておけば重宝まちがいなし。ミニ扇風機も入場待機列やサークル参加者などにはかなり効果的なアイテムだが、使用済み電池は自宅へ持ち帰って分別処分を。

使って快適なこれらのアイテム類だが、落とし物をしない、ゴミをポイ捨てしないよう注意しよう。

座って待機していた場所から立ち上がったらず周囲を確認。また、バッグの中には必ずゴミ袋を用意しておこう。自分が快適でもゴミを散らかして他の参加者を不快にしたのでは恥だ。



●雨への備えもお忘れなく！

ここしばらくは幸い会期中の雨はないが、だからと言って対策を怠ってはいけない。ゲリラ豪雨に象徴されるように、もし降ったら激しい雨で一気にずぶ濡れになることが予想されるので、例え予報では一日晴れになっていても、最低限の備えはしておくこと！

コミケットの密集した行列の中では傘は周囲の参加者に多大な迷惑と危険を及ぼすので使えない。雨対策はポンチョなどのレインウェアに頼ることになるので、ある程度しっかりしたものを用意しておこう（人が密集している場所以外で傘を使うのは問題ない）。

また、着ていく衣服も、『この服はもし雨が降ってずぶ濡れになったらどうなるか』ということは考えておこう。簡単に乾かない、身体に張りついたり透けてしまったりする、色落ちするなどの問題がありそうな服は避けるというだけでも立派な雨対策なのだ。

大切な戦利品や水に弱い電子機器を守るためにも、カバンを覆えるような大きめのビニール袋やジッパー付きの防水パックは必ず数枚用意しておこう。

■冷感グッズを使いこなそう■

昨年の震災後の夏以来、節電を受けて様々な工夫で涼しさを作り出す冷感グッズが大量に出回るようになった。これらは上手に使いこなせば暑さを乗り切る強い味方になってくれるので、ドラッグストア、ディスカウントショップ、セレクトショップ、DIYショップ、スポーツ用品店などを回って、様々なクール系アイテムを見つけよう。ただしこれらにはその性能を発揮する条件があり、誤って使用すると効果も半減してしまう。正しい知識を持って適材適所、上手に使いこなしたい。

■蒸散系冷感アイテム



汗も含む水分を蒸散させて気化熱で熱を奪ったり不快感を防ぐ仕組みのアイテム。速乾素材のウェア類もこのカテゴリに含まれる。特に気温が高く湿度の低い屋外で威力を発揮する。

弱点は皮脂などの脂分や粉体で、繊維に付着すると吸水・蒸散作用を妨げてしまう。速乾性繊維のシャツを着る前に制汗パウダー入りスプレーを使用するのは悪い例だ。また、皮脂を多量に含んだいわゆる『ドロドロ汗』もこのタイプのアイテムの性能を大きく引き下げるので、できるだけコミケット当日以前から身体は清潔にし、水分や野菜類を積極的に摂る、サウナに行く、ぬるめのお風呂にゆっくりつかるといった汗腺の機能を正常化させるための工夫をしておこう。汗の質が変わると、暑さの感じ方も違ってくる。

■揮発系冷感アイテム

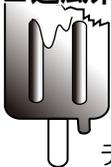


メンソール等の揮発成分を含んだスプレーやジェル、繊維に涼感加工を施したアンダーウェアやソックスなど。湿度が高く水分が蒸散しにくい環境でも一定の効果期待できる。

昨夏に大ブレイクした『シャツにスプレーして涼感を得る』タイプのアイテムはかなり効果的。同様の涼感ボディペーパー類と併用し、腕や首まわり等の肌が露出した部分はペーパーで時々拭き、シャツやズボンにはスプレーを使用することで汗まみれの状態を大分改善できる。

欠点は一定時間経つと効果が無くなることで、その都度シャツやズボン等を脱いで身体を拭いたりスプレーし直すのが困難である点（着衣の上からスプレーするタイプもあるが）。と、あまり使い過ぎると肌にダメージを与えかねない点。特に肌との相性は大切なので、事前に何度か試用して問題がないか確認しておくこと！ また、スプレー式の物は必ず屋外で、周囲への飛散にも十分注意して使用しなくてはならない。

■送風系アイテム



ミニ扇風機、うちわ、扇子など、直接風を身体に当てることで蒸散・揮発系の効果をさらに高めるアイテムで、仕組みは単純だが効果はバカにできない。100円ショップでも買える扇子1本でもバッグに忍ばせておけば重宝まちがいなし。ミニ扇風機も入場待機列やサークル参加者などにはかなり効果的なアイテムだが、使用済み電池は自宅へ持ち帰って分別処分を。

使って快適なこれらのアイテム類だが、落とし物をしない、ゴミをポイ捨てしないよう注意しよう。

座って待機していた場所から立ち上がったらず周囲を確認。また、バッグの中には必ずゴミ袋を用意しておこう。自分が快適でもゴミを散らかして他の参加者を不快にしたのでは恥だ。



●雨への備えもお忘れなく！

ここしばらくは幸い会期中の雨はないが、だからと言って対策を怠ってはいけない。ゲリラ豪雨に象徴されるように、もし降ったら激しい雨で一気にずぶ濡れになることが予想されるので、例え予報では一日晴れになっていても、最低限の備えはしておくこと！

コミケットの密集した行列の中では傘は周囲の参加者に多大な迷惑と危険を及ぼすので使えない。雨対策はポンチョなどのレインウェアに頼ることになるので、ある程度しっかりしたものを用意しておこう（人が密集している場所以外で傘を使うのは問題ない）。

また、着ていく衣服も、『この服はもし雨が降ってずぶ濡れになったらどうなるか』ということは考えておこう。簡単に乾かない、身体に張りついたり透けてしまったりする、色落ちするなどの問題がありそうな服は避けるというだけでも立派な雨対策なのだ。

大切な戦利品や水に弱い電子機器を守るためにも、カバンを覆えるような大きめのビニール袋やジッパー付きの防水パックは必ず数枚用意しておこう。